
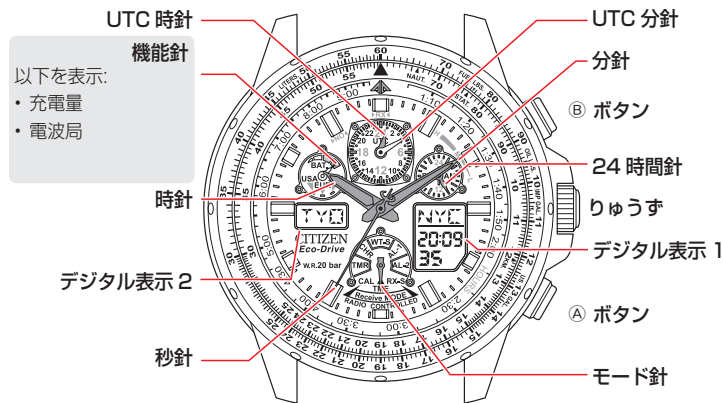
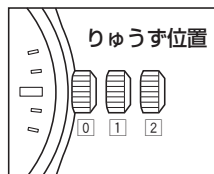


- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  U600 取扱説明書

各部の名称



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- りゅうずは2段階に引き出せます。
- スケールやベゼルなど外装機能についての詳細は、弊社ホームページも併せてご覧ください。
(<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>)



モードを切り替える

- りゅうずの位置を 1 にする
- りゅうずを回して、モードを切り替える
 - モード針がモード表示の目盛を確実に指すように、りゅうずを回します。

モード	説明
TME	ホームタイムとローカルタイムが表示されます。
CAL	ローカルタイムのカレンダーが表示されます。
TMR	タイマーを使用します。詳しくは、 取扱説明書 をご覧ください。
CHR	クロノグラフを使用します。詳しくは、 取扱説明書 をご覧ください。
WT-S	地域名の表示/非表示を設定したり、サマータイムの設定を行います。
AL-1/2	アラームを使用します。詳しくは、 取扱説明書 をご覧ください。
RX-S	電波受信の受信設定を行います。詳しくは、 受信時刻を設定する や サマータイムを設定する をご覧ください。

- りゅうずの位置を 0 にして、終了する

LEDランプを使用する

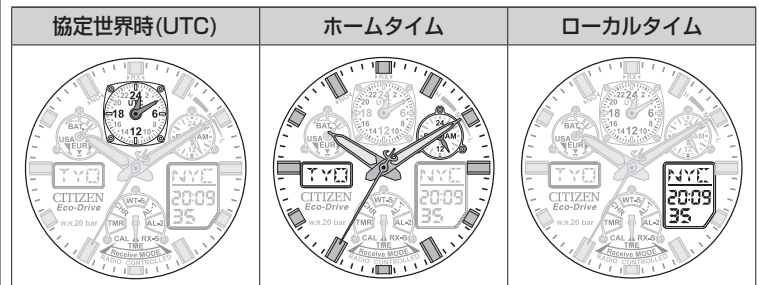
りゅうずの位置が0のとき、**Ⓐ** ボタンを押してLEDランプを2秒間点灯させることができます。

次の場合は、ランプは点灯しません。

- モードが[TMR]や[CHR]のとき
- 電波受信中
- 秒針が2秒ごとに動いている(充電警告機能)とき

この時計の時刻表示について

この時計は、以下のように3種類の時刻を同時に表示することができます。



ローカルタイムの表示を変更する

- ローカルタイムには、44の地域とUTCから選んで、時刻を表示させることができます。

- りゅうずの位置を 1 にする
- りゅうずを回してモードを [TME] または [CAL] にする
- Ⓐ** ボタンまたは **Ⓑ** ボタンをくり返し押して、地域を選ぶ
 - 地域については、[ホームタイムの地域を設定する](#)をご覧ください。
- りゅうずの位置を 0 にして、終了する

ホームタイムとローカルタイムを入れ替える

ホームタイムとローカルタイムの表示時刻を簡単に入れ替えることができます。

- りゅうずの位置を 1 にする
- りゅうずを回してモードを [TME] または [CAL] にする
- Ⓐ** ボタンと **Ⓑ** ボタンを同時に押す
 - アラーム音が鳴り、ホームタイムとローカルタイムが入れ替わります。
 - カレンダーも入れ替わります。
- りゅうずの位置を 0 にして、終了する

充電量を確認する

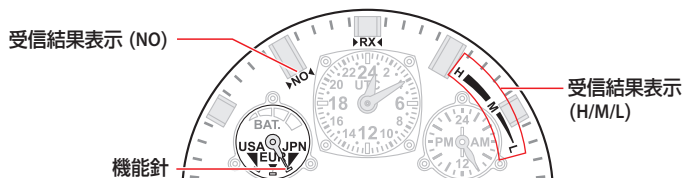
機能針が充電量をレベル表示します。

レベル	3	2	1	0
充電量表示				
およその持続時間	180~130日	130~20日	20~3日	3日以下
表示の意味	十分充電されています。	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まるレベルです。
すぐに充電してください				

電波受信の結果を確認する

- この時計は、標準電波を毎日午前2時に受信し、時刻・カレンダーを自動で合わせます。午前2時に受信できなかったときは、午前3時、午前4時に再度受信を試みます。
- 午前4時の受信は、任意の時刻に変更できます。詳しくは、[受信時刻を設定する](#)をご覧ください。

- 1 りゅうずの位置を **1** にする
- 2 りゅうずを回してモードを [TME]、[CAL] または [RX-S] にする
- 3 りゅうずの位置を **0** にする
- 4 **A** ボタンを押す
秒針が受信結果(H/M/L/NO)を指し、機能針が電波局(USA/EUR/JPN)を指します。



- デジタル表示2に、ホームタイムのサマータイムの設定が表示されます。(SMTと、ONまたはOFFが交互に表示されます。)

H	非常に良い環境で受信しました。
M	良い環境で受信しました。
L	あまり良くない環境で受信しました。
NO	受信に失敗しました。

- 「H」、「M」、「L」の表示は、受信環境の適性を示すもので、時計の受信性能には関係はありません。
- 受信に失敗している場合は、[電波を手動で受信する\(強制受信\)](#)の手順に従い、電波受信をしてください。

- 5 **A** ボタンを押して、終了する
通常表示に戻ります。
ボタンを押さなくても、10秒間経過すると、自動で通常表示に戻ります。

ホームタイムの地域を設定する

この時計を主に使用する地域を選び、ホームタイムを設定します。

- この時計は、ホームタイムに設定された地域(デジタル表示2に表示されます)に割り当てられた電波局の電波を受信します。

- 1 りゅうずの位置を **1** にする
- 2 りゅうずを回してモードを [TME] にする
- 3 **A** ボタンまたは **B** ボタンをくり返し押し、地域を選ぶ
・地域名がデジタル表示1に表示されます。
・ボタンを押し続けると、地域名が連続して切り替わります。
- 4 **A** ボタンと **B** ボタンを同時に押す
- 5 りゅうずの位置を **0** にして、終了する

時差と地域について

- 一覧表の時差は、UTC(協定世界時)からの時差です。
- 時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

時差	地域名	代表地域	電波局	時差	地域名	代表地域	電波局
0	UTC	協定世界時	-	+9.5	ADL	アデレード	◆JPN
0	LON	*ロンドン	EUR	+10	SYD	シドニー	
+1	PAR	*パリ		+11	NOU	ヌーメア	
	ROM	*ローマ		+12	AKL	オークランド	
	BER	*ベルリン		SUV	スバ		
	MAD	*マドリード					
+2	CAI	カイロ	◆USA	-11	MDY	ミッドウェイ	
	JNB	ヨハネスブルグ		-10	HNL	ホノルル	
	ATH	*アテネ		-9	ANC	**アンカレジ	
+3	MOW	*モスクワ	◆EUR	-8	LAX	**ロサンゼルス	USA
	RUH	リヤド		-7	YVR	**バンクーバー	
+3.5	THR	テヘラン	-6	CHI	**シカゴ		
+4	DXB	ドバイ		MEX	**メキシコシティ		
+4.5	KHL	カブール	-5	NYC	**ニューヨーク		
+5	KHI	カラチ		YMQ	**モントリオール		
+5.5	DEL	デリー	-4	CCS	カラカス	◆USA	
+6	DAC	ダッカ		-3	RIO		リオデジャネイロ
+6.5	RGN	ヤンゴン	◆JPN	-2	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	◆EUR
+7	BKK	バンコク		-1	PDL	*アゾレス諸島	
+8	SIN	シンガポール	JPN	Any	HOM	設定によります。	
+8	HKG	香港					
+8	BJS	北京					
+8	TPE	台北	+9				
+9	TYO	東京					
	SEL	ソウル					

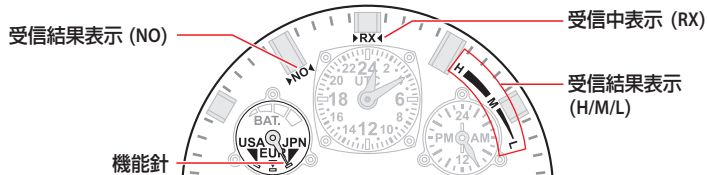
- USA:アメリカ合衆国/EUR:ヨーロッパ/JPN:日本
- */**のついた地域では、サマータイム/標準時刻の自動切り替えが連動します。
- 一覧表にない地域で時計を使用する場合は、同じ時差の地域を設定してください。
- ◆マークのある地域は受信範囲外であり、受信することはできません。(受信時には各局の電波を受信しようと動作します)
- 電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。



電波を手動で受信する(強制受信)

- この時計は、ホームタイムに設定された地域(デジタル表示2に表示されます)に割り当てられた電波局の電波を受信します。
- ホームタイムの地域がUTCのときは電波受信を行いません。
- ローカルタイムとUTCは、電波受信に成功すると同時に修正されます。
- 受信が完了するまでに、2分~15分程かかります。

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回してモードを [TME]、[CAL] または [RX-S] にする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
- 4 ④ ボタンを2秒間以上押し続ける
アラーム音が鳴り、秒針がRXを指したら、ボタンを離します。秒針が、H/M/Lのいずれかを指すと、その後電波受信が始まります。機能針が電波受信を行う電波局(USA/EUR/JPN)を指します。



受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。

受信に成功した場合	修正された時刻/カレンダーが表示されます。
受信に失敗した場合	時刻/カレンダーは修正されず、現在の時刻に戻ります。

受信時刻を設定する

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回してモードを [RX-S] にする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
- 4 ④ ボタンを押す
現在の受信時刻の設定が点滅し、変更できるようになります。
- 5 ④ ボタンをくり返し押して、受信時刻の設定を選ぶ

- ボタンを押すごとに、次のように設定が切り替わります。
AUT → MAN → OFF → (初めに戻る)

MAN (マニュアル)	ホームタイムの午前4時の受信時刻を1時間単位で変更できます。午前2時と午前3時に設定することはできません。
OFF(オフ)	自動受信は行われません。
AUT(自動)	午前2時、午前3時、午前4時に自動受信が行われます。(初期設定)

- MANを選んだときは、りゅうずを回して自動受信する時刻を設定します。

- 6 りゅうずの位置を ③ にして、終了する

サマータイムを設定する

サマータイム/標準時刻の自動切り替えを設定する

サマータイム信号の有無によって、サマータイム/標準時刻の切り替えを自動でおこなうかどうかを設定します。

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回してモードを [RX-S] にする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
現在の自動切り替えの設定が点滅し、変更できるようになります。
- 4 ④ ボタンを押して、AUまたはmAを選ぶ

AU(自動)	サマータイム信号の有無によって、サマータイム/標準時刻を自動で切り替えます。
mA(マニュアル)	サマータイム/標準時刻を自動で切り替えません。

- ボタンを押すごとに、設定が交互に切り替わります。

- 5 りゅうずの位置を ③ にして、終了する

地域ごとにサマータイム設定を行う

UTCを除く各地域ごとに、サマータイム/標準時刻を表示させることができます。

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回してモードを [WT-S] にする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
デジタル表示2が消灯し、デジタル表示1で現在の地域のサマータイム設定(ON/OFF)が点滅し始めます。
- 4 りゅうずを回して地域を選ぶ
- 5 ④ ボタンを押して、サマータイム設定を選ぶ

ON	サマータイムが表示されます。
OF(OFF)	標準時刻が表示されます。

- ボタンを押すごとに、設定が交互に切り替わります。

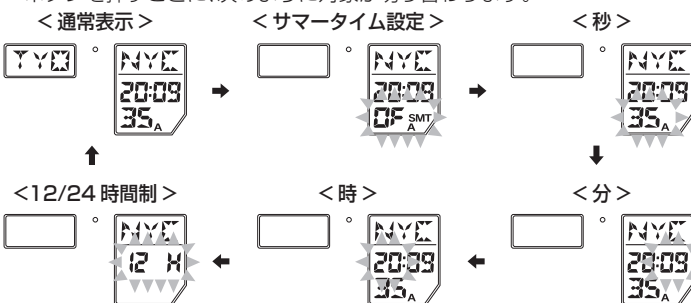
- 6 手順4と5をくり返して、他の地域を設定する
- 7 りゅうずの位置を ③ にして、終了する

時刻/カレンダーを手動で合わせる

- ホームタイムとUTCは直接手動で合わせることはできません。
- ホームタイムとUTCは、ローカルタイムの時刻/カレンダー合わせを行うと、同時に修正されます。

時刻を合わせる

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回してモードを [TME] にする
- 3 ④ ボタンまたは ④ ボタンをくり返し押して、地域を選ぶ
- 4 りゅうずの位置を ② にする
秒針が0秒を指し、デジタル表示2が消灯します。サマータイム設定が点滅し始めます。
- 5 ④ ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

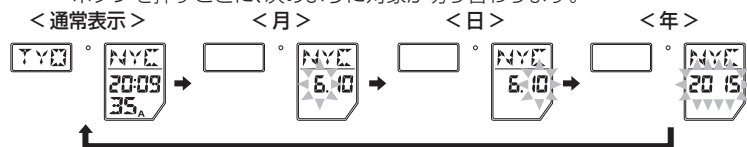


- 6 時刻を合わせる
時/分:りゅうずを回して合わせます。サマータイム設定/秒/24時間制: ④ ボタンをくり返し押します
- 7 手順5と6をくり返して、他の対象を合わせる
- 8 りゅうずの位置を ③ にして、終了する



カレンダーを設定する

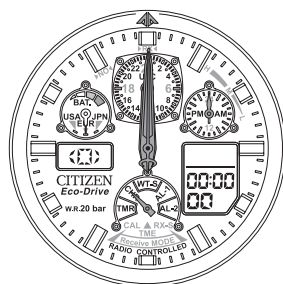
- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回してモードを [CAL] にする
- 3 ① ボタンまたは ② ボタンをくり返し押しして、地域を選ぶ
- 4 りゅうずの位置を ② にする
デジタル表示2が消灯します。
月が点滅し始めます。
- 5 ② ボタンをくり返し押しして、合わせる対象を選ぶ
・ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



- 6 りゅうずを回して、カレンダーを合わせる
- 7 手順5と6をくり返して、他の対象を合わせる
- 8 りゅうずの位置を ① にして、終了する

基準位置を確認する

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回してモードを [CHR] にする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
各針が現在の基準位置に移動し始めます。
- 4 基準位置を確認する
正しい基準位置は次のとおりです。
・時針/分針/秒針:0時00分00秒
・24時間針:[24]
・UTC時針/UTC分針:0時00分
・機能針:EUR



基準位置がずれているときは、[基準位置を修正する](#)の手順4に進みます。

- 5 りゅうずの位置を ① にして、終了する

基準位置を修正する

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回してモードを [CHR] にする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
針が現在の基準位置に移動し始めます。
- 4 ② ボタンを2秒間以上押し続ける
CHAが点滅表示され、機能針が修正できるようになります。
- 5 ② ボタンをくり返し押しして、合わせる対象を選ぶ
・ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。
機能針 → UTC時針/UTC分針 → 時針/24時間針 → 分針 → (初めに戻る)
- 6 りゅうずを回して、各基準位置を合わせる
- 7 手順5と6をくり返して、他の対象を合わせる
- 8 ② ボタンを2秒間以上押し続ける
- 9 りゅうずの位置を ① にして、終了する

オールリセット

- 1 りゅうずの位置を ① にする
- 2 りゅうずを回してモードを [CHR] にする
- 3 りゅうずの位置を ② にする
- 4 ① ボタンと ② ボタンを同時に押す
デジタル表示1とデジタル表示2が全点灯し、時計がリセットされます。
その後、確認音が鳴り、各針がデモ運針を始めます。

オールリセット後の各設定	
ホームタイムとローカルタイムの地域	UTC
時刻	午前0時
カレンダー	2007年1月1日
受信時刻の設定	AUT
サマータイム設定	すべての地域でOFF (OFF)
サマータイム/標準時刻の自動切り替えの設定	AU
アラーム設定とアラーム時刻	OFF (OFF)、午前0時(UTC)
タイマー	99:00
クロノグラフ	00:00:00:00

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせて、時刻とカレンダーを合わせ直してください。

